子どもの自殺危機対応チームの概要

1 設置目的

地域の支援者が困難ケースに直面したとき、専門家の助言や直接支援を受けられるよう、多職種の専門家で構成する「子どもの自殺危機対応チーム」を設置する。

2 基本的なスタンス

(1)地域の関係機関による支援を優先

地域の関係機関による連携支援が行き詰っているなどの困難ケースを支援対象とする。

(2)専門的かつ短期・集中的な支援

課題解決の糸口を見出すため、専門性の高い支援を短期・集中的に実施。その後は地域の関係機関の 支援状況をフォローアップ。(自殺のリスクを抱える者には、地域による中長期的な見守り支援が必要)

(3) 緊急事案は地域の関係機関で対応

自殺の危機が目前に迫っている場合は、措置入院など地域の関係機関が対応

3 支援対象者

次の未成年者のうち、地域の関係機関による連携支援を行っているが対応困難なケースで、 子どもの自殺危機対応チーム(以下「チーム」という。)による支援を必要とする者。

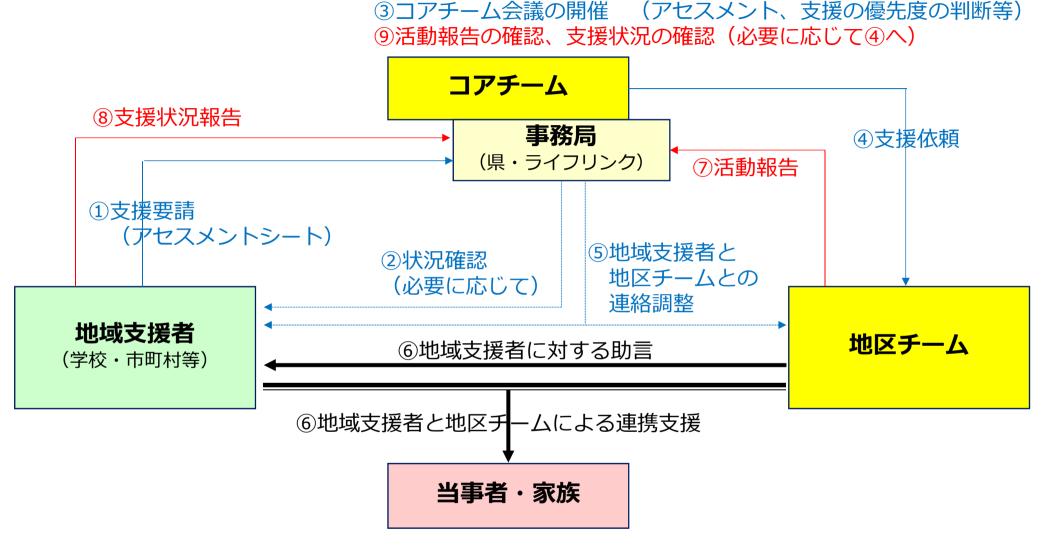
- ・ 自殺未遂歴がある
- ・ 自傷行為の経験がある
- 自殺をほのめかす言動があり、自殺の可能性が否定できない
- ・ 家族を自殺で亡くしている
- 4 情報提供元 (支援要請者) 教育委員会(公立学校)、私立学校、市町村、子ども・若者支援団体等
- 5 チーム設置時期

2019年10月

6 チームの構成・機能

	コアチーム(各職種1名・非常勤)	地区チーム(県内4地区・非常勤)
構成	 ○ 精神科医 (精神科病院協会推薦) ○ 心理士 (公認心理師・臨床心理士会推薦) ○ 精神保健福祉士 (精神保健福祉士協会推薦) ○ 弁護士 (弁護士会推薦) ○ ライフリンク、OVA ○ セーフティネット総合研究所 事務局:保健・疾病対策課、ライフリンク(常勤) 	 ○ 精神科医 ○ 心理士 ○ 精神保健福祉士 ○ 弁護士 ○ ライフリンク、OVA ○ セーフティネット総合研究所
機能	 ◆ チーム会議における全県調整 ○ 支援開始前 ・支援要請があったケースのアセスメント ・支援の必要度の判断 ・支援が必要な専門分野の特定 ・地区チームに支援を依頼 ○ 支援終了後のフォローアップ ・地区チームの活動報告の確認 ・地域支援者から支援状況の報告の確認 ・地域支援者への助言依頼	 ▶ 実働支援 ○ 支援の実施 ・ コアチームからの依頼に基づき支援実施 ・ 複数の専門家の連携支援が必要な場合は、必要に応じて会議を開催 ○ 支援終了後のフォローアップ ・ 活動報告を事務局へ提出 ・ コアチームからの依頼に基づき、地域支援者に対する助言 ○ 支援情報の共有

7 支援のフローチャート



8 その他

- ・ 次期日本財団いのち支える自殺対策プロジェクト(2019.9~2022.3) として、ライフリンク の技術的支援を受けて実施
- ・全国のモデルとなる仕組みの構築を目指す。

長野県子どもの自殺危機対応チーム コアチームメンバー		
職種	氏 名	所 属 等
弁護士	鏡味 聖善	グリーンバックス法律事務所
开设工	中嶋 慎治	中嶋慎治法律事務所
精神科医	横山 伸	長野赤十字病院 精神科部長
作用个中个斗 (本)	吉川(領一)	栗田病院 精神科医
公認心理師	岡本 かおり	清泉女学院大学人間学部 准教授、公認心理師・臨床心理士
臨床心理士	山本 京子	長野県公認心理師・臨床心理士協会長
精神保健福祉士	夏目 宏明	長野県精神保健福祉士協会長
个月个甲 ¹ 木 1)建个田个山	二宮 美和	長野県精神保健福祉士協会 理事
自殺対策に	伊藤 次郎	NPO法人 OVA 代表理事
取り組むNPO	清水 康之	NPO法人 自殺対策支援センターライフリンク代表
ネット専門家	南澤 信之	一般社団法人 セーフティネット総合研究所 代表理事 4